

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小林和弘
	全体計画						経費区分		-		内線	3152
事務事業名	4055 契約事業											
所 属	050300 総務部・財政課											
施 策	07024500 長期的展望に立った財政運営											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020105 総務費・総務管理費・財産管理費										
	事業	020000 契約事業										
事業目的						事業概要・効果						
入札・契約事務における、より一層の透明性、公平性、競争性を確保する。						公共工事の入札及び契約の適正化を促進し、入札の透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工の確保のため、必要に応じて入札・契約制度の条例規則等の改正を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
入札及び契約に関する公表要領の見直し・策定 入札心得の見直し・策定（郵便での入札書等の提出方法について詳細に定める） 委託業務等の最低制限価格の引上げ	建設工事等入札参加資格要件の見直し（社会保険等の加入を追加） 建設工事入札参加資格の主観点数加点項目（個人住民税特別徴収実施企業）の追加
平成29年度 予定	平成30年度 予定
入札・契約制度の随時見直し	入札・契約制度の随時見直し
平成31年度 予定	平成32年度 予定
入札・契約制度の随時見直し	入札・契約制度の随時見直し

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		3,604	3,843
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,604	3,843
人員数(人)	正規職員	1.3	1.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.2	0.0
人員コスト	正規職員	9,370.4	9,370.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	206.0	0.0
	計	9,576.4	9,370.4
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		13,180.4	13,213.4

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	140	消耗品費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,464	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	140	消耗品費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,703	業者管理支援システム、契約管理支援システム、検査管理支援システムの使用料等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	「担い手3法」が改正され、公共工事においても建設業における「担い手の確保・育成」施策が強く求められている。また、公共事業が減り、業者が受注できる量も限られることから、公正で適正な契約（入札）は不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	国の動向や須坂市の状況を把握して、必要に応じて制度改革に取り組んでおり、入札参加者の市に対する信頼度は高い。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	規則、要綱等の数が多く、統合できるものはないか検討が必要。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

競争入札対象金額の改正、最低制限価格の引上げや小規模工事等受注希望者登録制度の実効性向上など、成果をあげることができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
入札制度改正等に迅速に対応し、公正で適正な契約（入札）によって、入札参加者の市に対する信頼度は高めることは非常に重要である。		小規模事業者への発注割合を増やすため、見積もり徴収や、発注の場合には小規模事業者から行うよう指導徹底を図る。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	